

大平洋金属株式会社
2018年3月期 中間決算説明会

2017年11月17日

お問い合わせ先:総務部(IR担当) 03-3201-6681

ホームページ: <http://www.pacific-metals.co.jp>

I. 18.3期 中間決算	
1. 中間決算実績	4
2. 連結経常損益分析	5
II. ニッケル需給について	
1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	7
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	8
3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	9
4. NPI生産の動向	10
III. 18.3期 通期見通し	
1. 通期決算見通し	12
2. 国別販売見通し	13
3. 連結経常損益分析	14
IV. 経営課題への取り組み	
1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況	17
2. 鉱石長期購入契約・調達割合の動向	20
3. ESGへの取り組み状況	21
【参考データ】中期経営計画「PAMCO-30」と実績値(見通し値)との比較	22

I 18.3期 中間決算

1. 中間決算実績

【概要】

(単位:百万円、%)

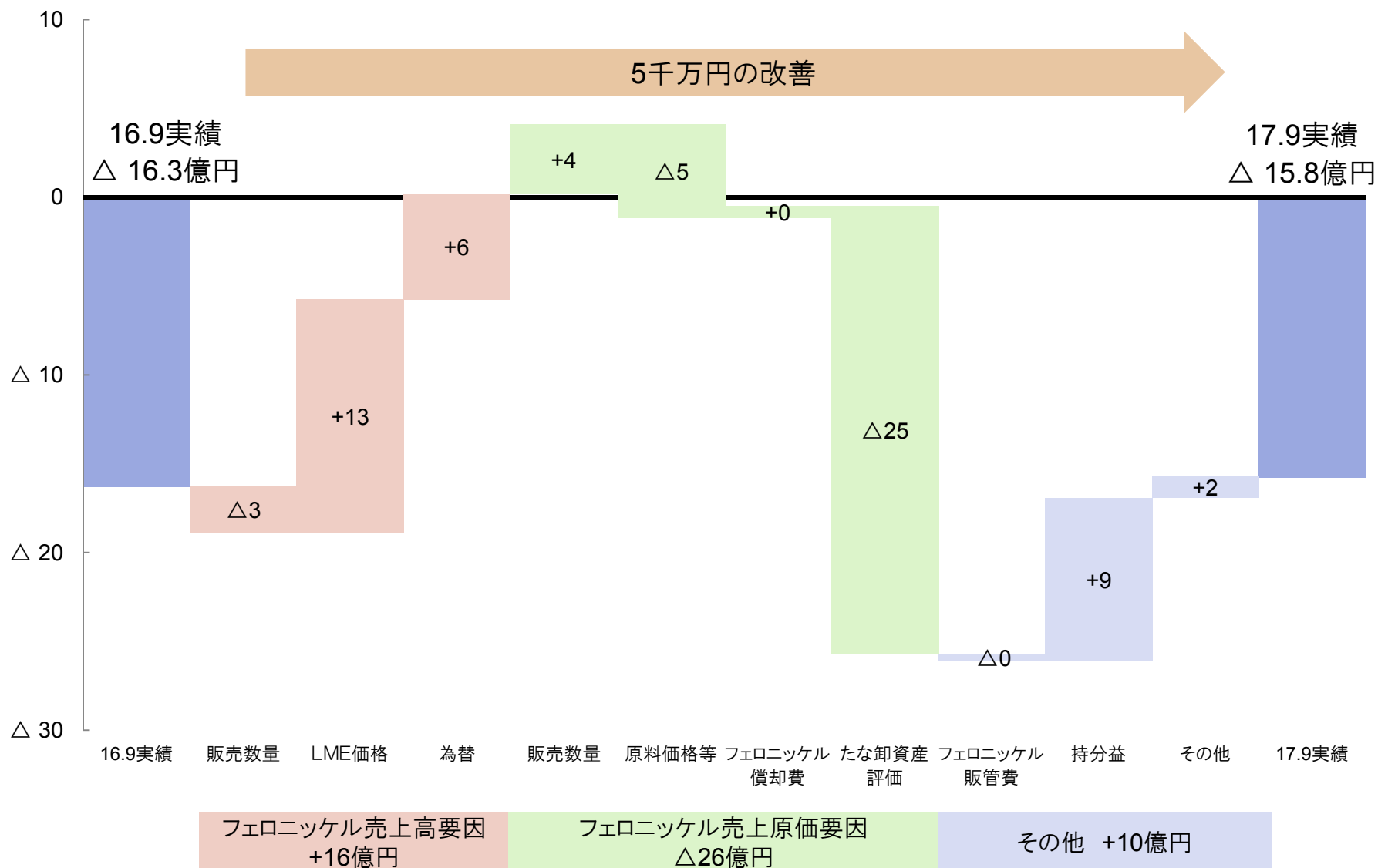
	16.9実績		17.9予想 (8/4発表)		17.9実績		対 前年同期比	対 8/4発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	17,589	—	18,652	—	19,178	—	9.0	2.8
営業利益	△2,404	△13.7	△4,813	△25.8	△3,467	△18.1	—	—
経常利益	△1,629	△9.3	△3,555	△19.1	△1,578	△8.2	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△2,144	△12.2	△3,734	△20.0	△1,810	△9.4	—	—
(投資額)	78	—	—	—	54	—	△30.8	—
(減価償却費)	189	—	—	—	154	—	△18.5	—

【ニッケル事業】

	16.9実績	17.9予想 (8/4発表)	17.9実績	対 前年同期比 (単位:%)	対 8/4発表 予想比 (単位:%)
生産数量(Niトン)	16,425	16,034	15,361	△6.5	△4.2
販売数量(Niトン)	16,447	16,358	16,118	△2.0	△1.5
適用LME(\$ / トン)	9,193	9,370	9,766	6.1	4.2
[適用LME(\$ / lb)]	[4.17]	[4.25]	[4.43]		
適用為替(¥ / \$)	107.18	110.80	111.17	3.7	0.3

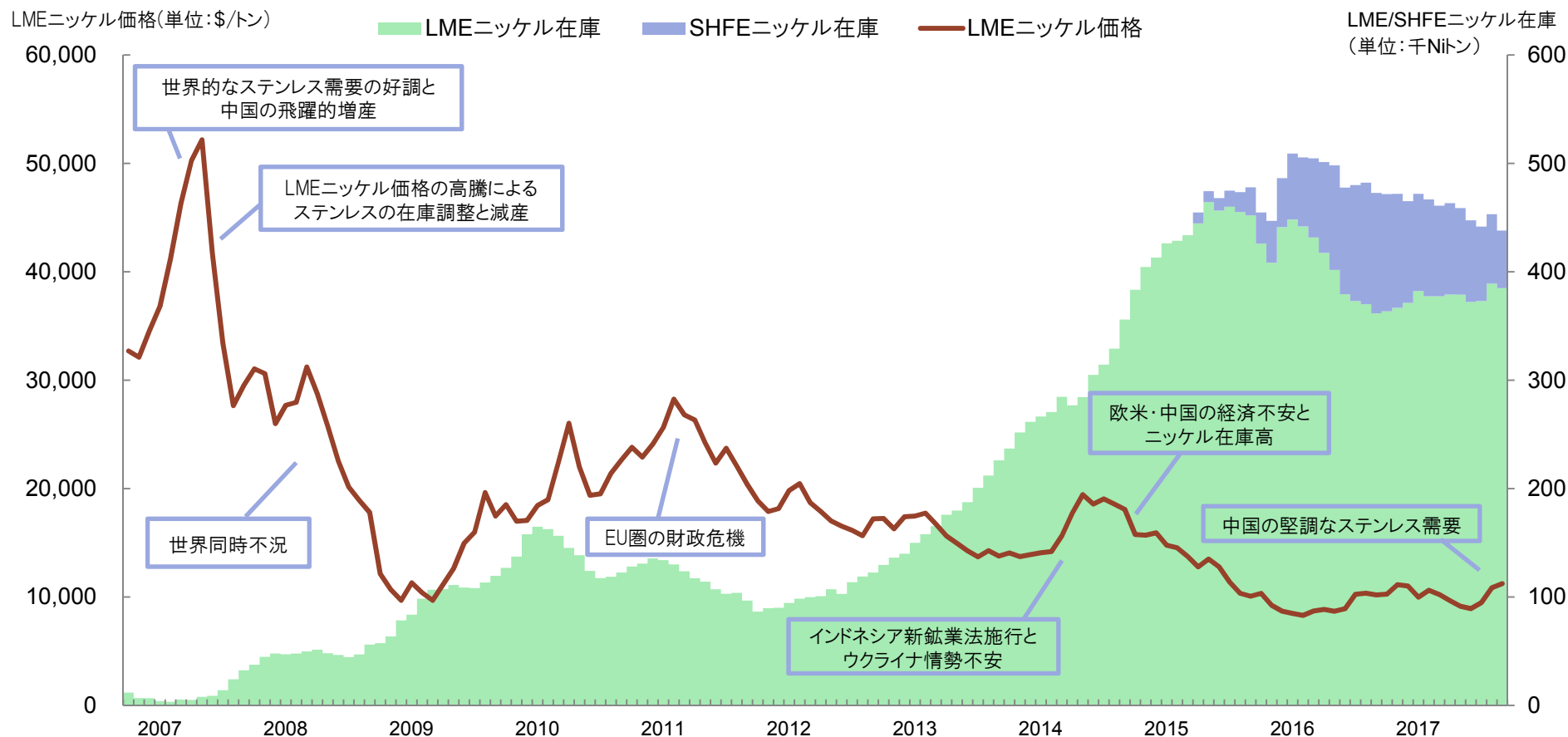
2. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



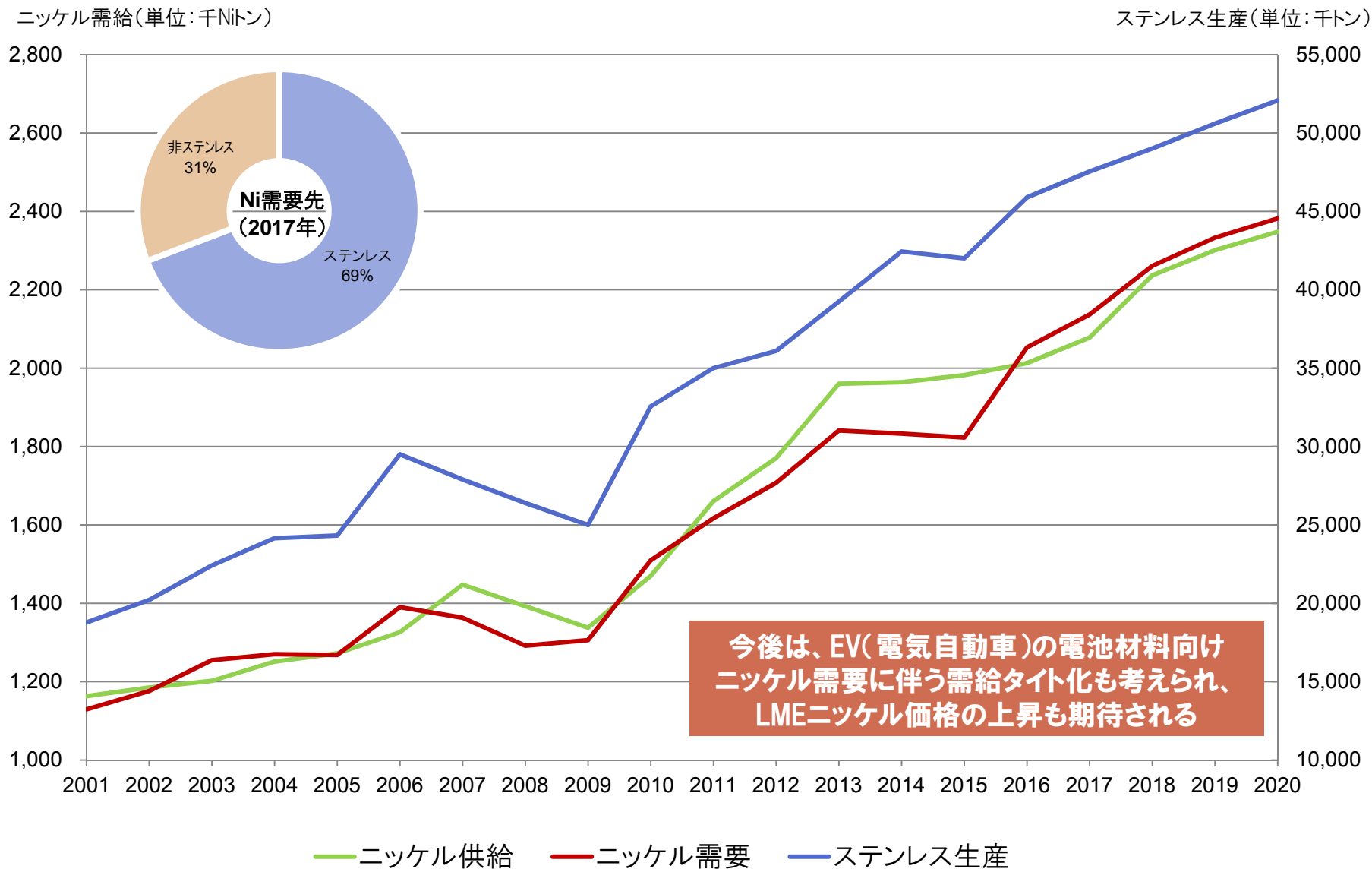
Ⅱ ニッケル需給について

1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移



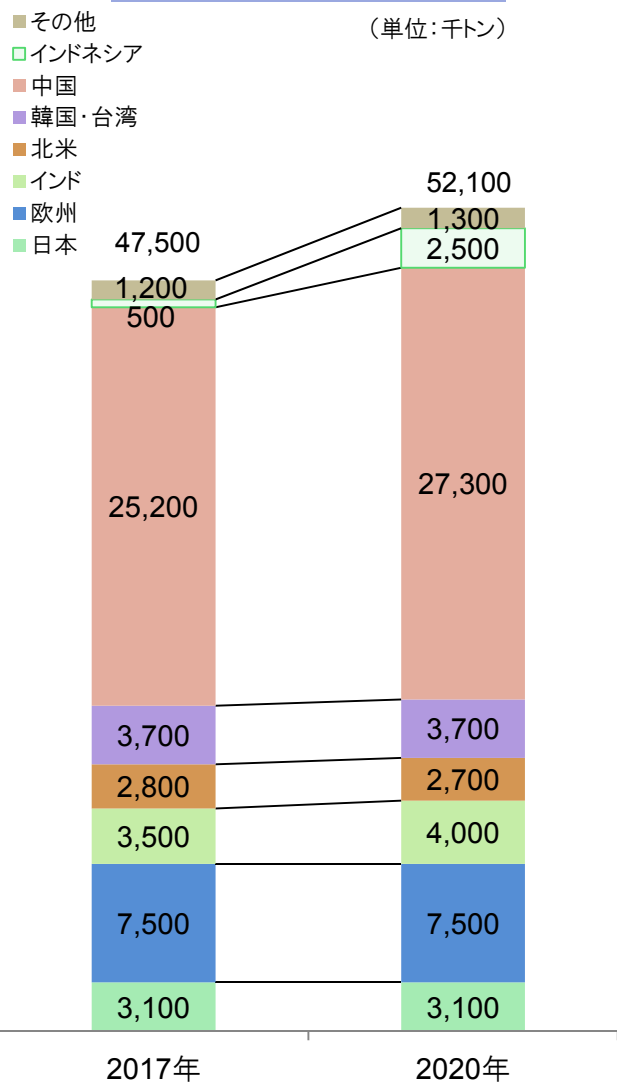
業績の推移	07.3	08.3	09.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	17.3
売上高(百万円)	100,283	116,420	72,976	58,490	74,786	48,330	58,489	56,408	61,225	47,649	38,697
営業利益(百万円)	44,455	52,251	16,169	11,774	18,495	154	2,168	△4,080	△7,788	△15,358	△3,070
経常利益(百万円)	45,716	56,315	18,388	13,441	20,768	3,524	4,921	△1,839	△92	△12,284	△516

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

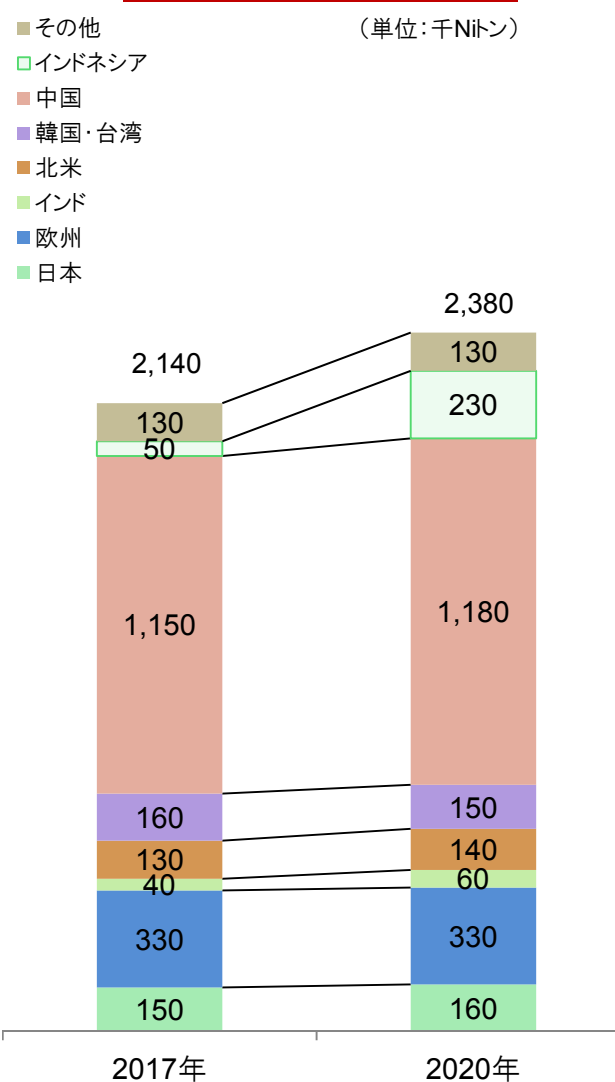


3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

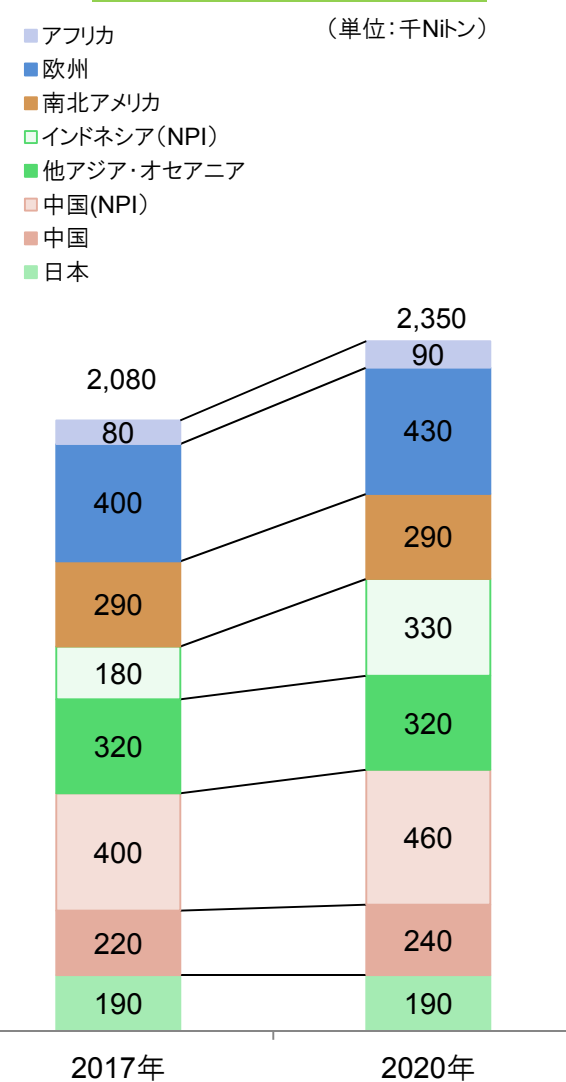
ステンレス生産見通し



ニッケル需要見通し

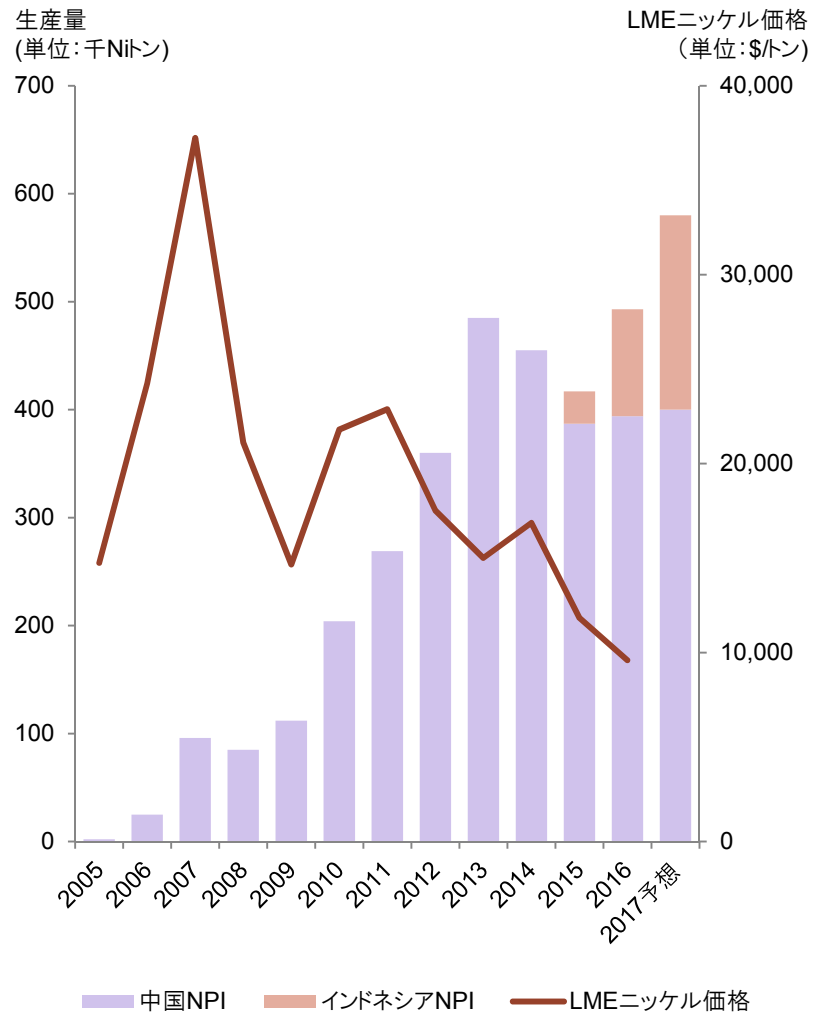


ニッケル供給見通し

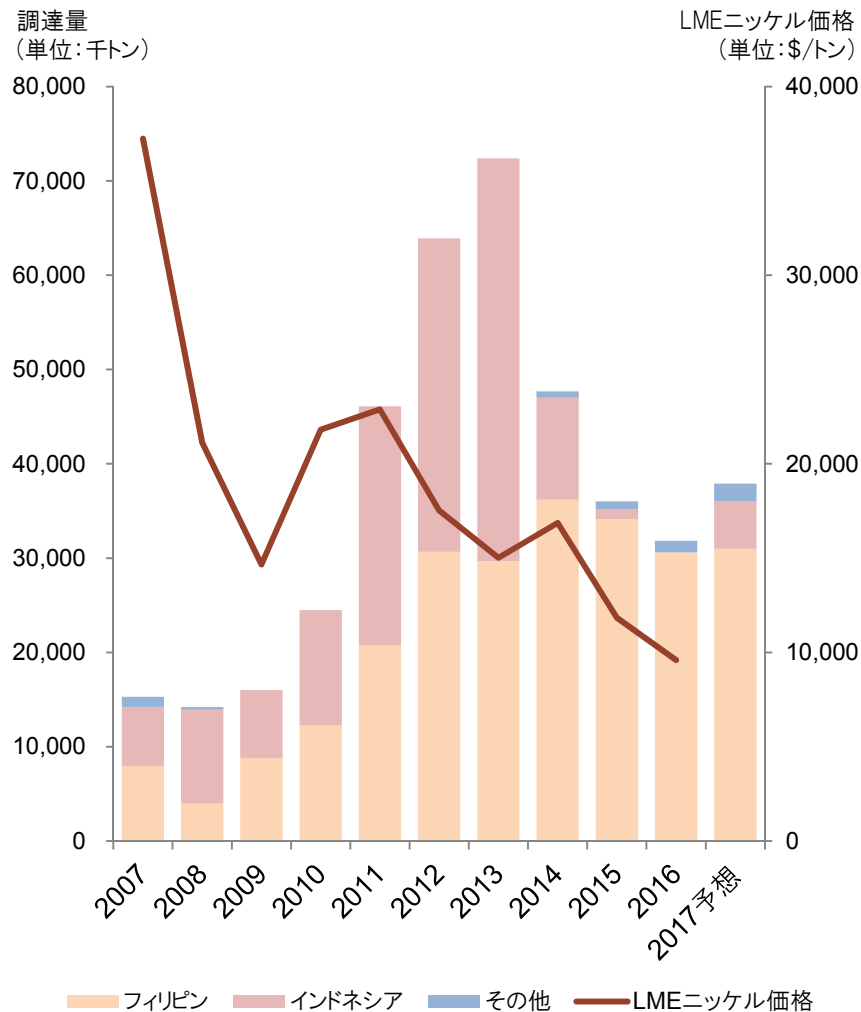


4. NPI生産の動向

NPI生産量の推移



中国のNi鉱石調達量の推移



Ⅲ 18.3期 通期見通し

1. 通期決算見通し

【概要】

(単位:百万円、%)

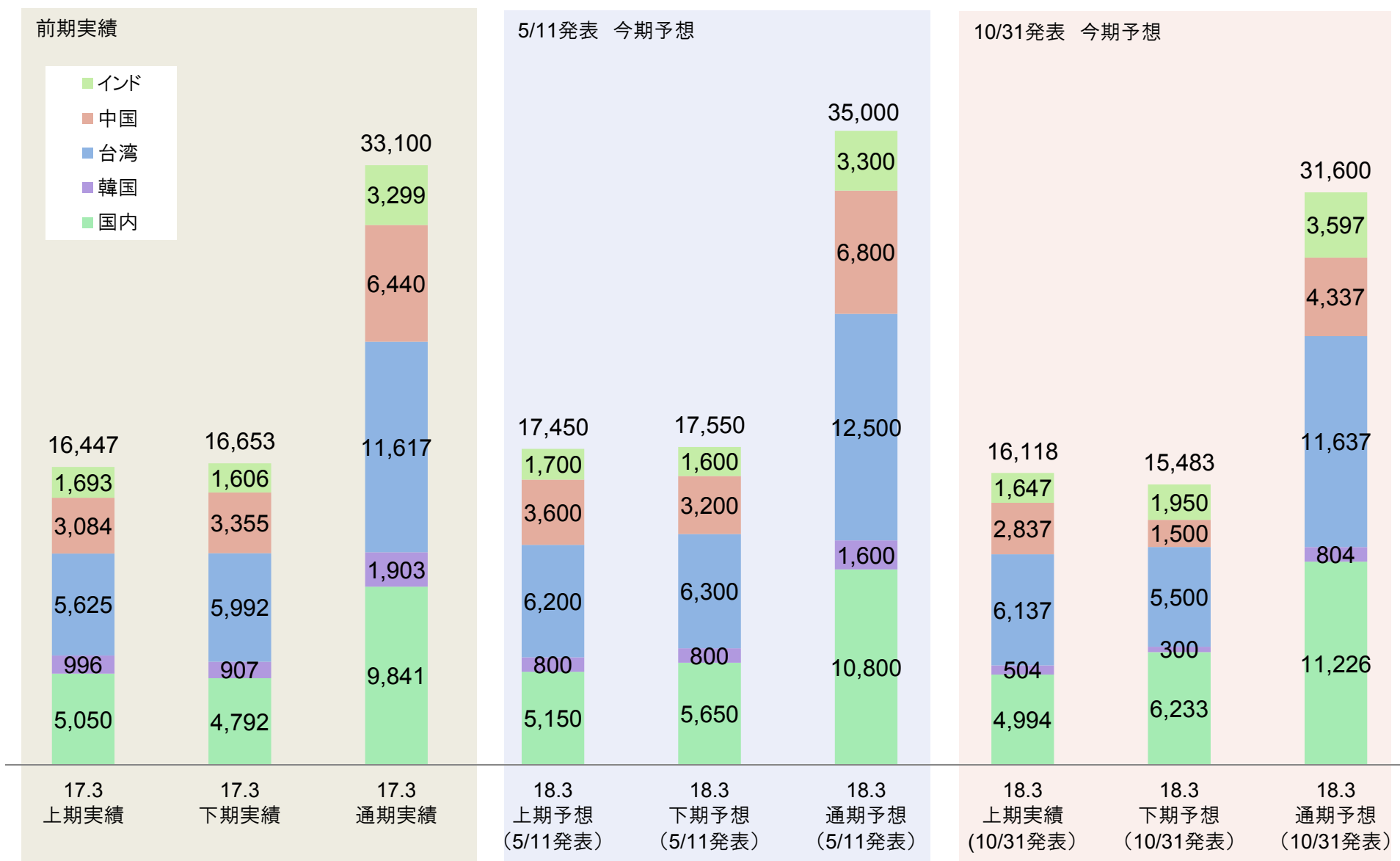
	17.3実績		18.3予想 (8/4発表)		18.3通期見通し (10/31発表)		対 前期比	対 8/4発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	38,697	—	36,611	—	38,401	—	△0.8	4.9
営業利益	△3,070	△7.9	△8,370	△22.9	△7,460	△19.4	—	—
経常利益	△516	△1.3	△6,248	△17.1	△4,661	△12.1	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,562	△9.2	△6,616	△18.1	△5,084	△13.2	—	—
(投資額)	255	—	—	—	555	—	117.7	—
(減価償却費)	376	—	—	—	317	—	△15.7	—

【ニッケル事業】

	17.3実績			18.3 予想 (8/4発表)	18.3通期見通し (10/31発表)			対 前期比 (単位:%)	対 8/4発表 予想比 (単位:%)
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想		
生産数量(Niトン)	16,425	16,676	33,101	30,007	15,361	14,693	30,054	△9.2	0.2
販売数量(Niトン)	16,447	16,653	33,100	31,600	16,118	15,482	31,600	△4.5	0.0
適用LME(\$/トン)	9,193	10,358	9,877	9,634	9,766	10,362	10,053	1.8	4.3
[適用LME(\$/lb)]	[4.17]	[4.78]	[4.48]	[4.37]	[4.43]	[4.70]	[4.56]		
適用為替(¥/\$)	107.18	110.08	108.64	110.30	111.17	110.02	110.61	1.8	0.3

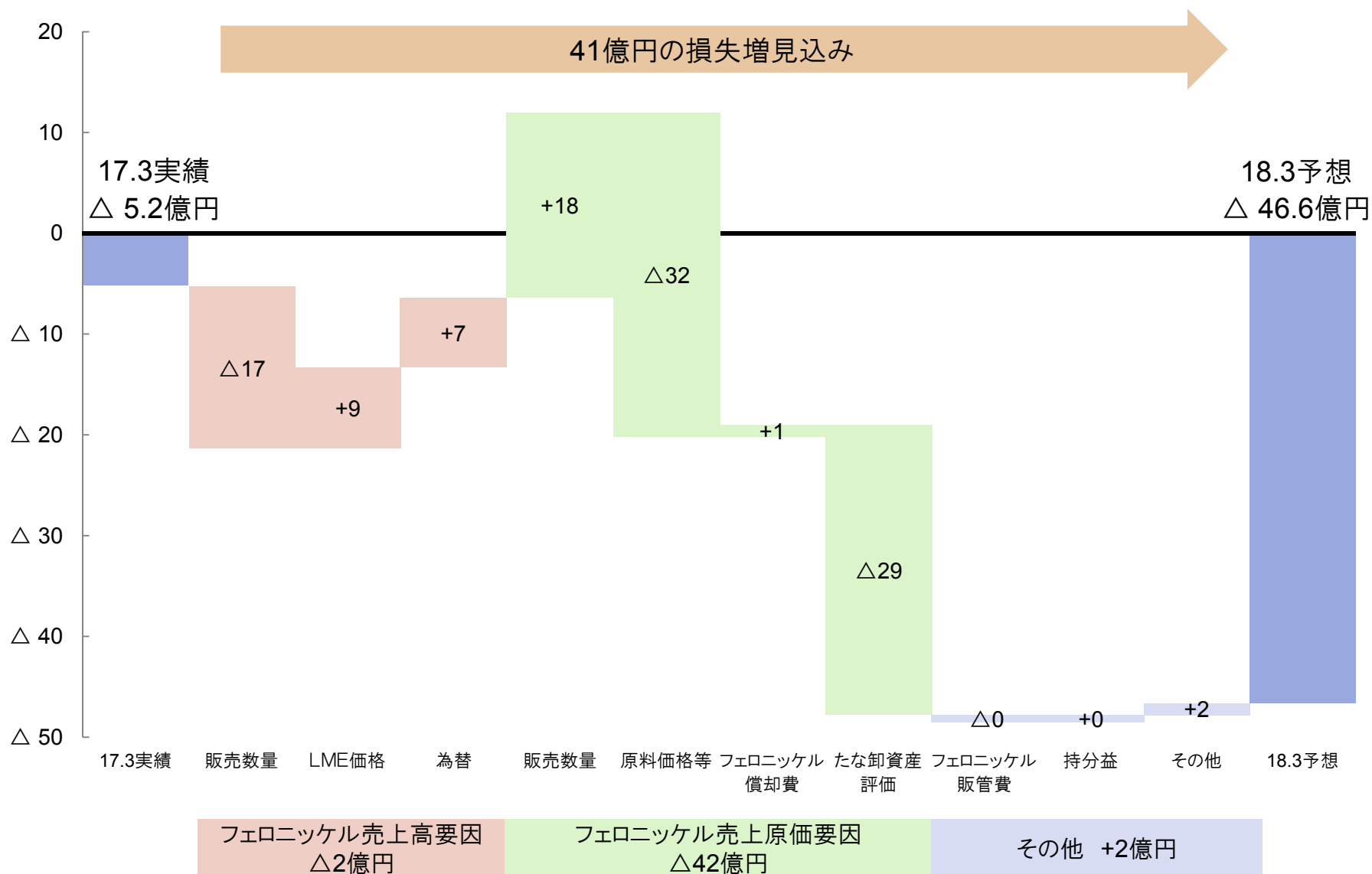
2. 国別販売見通し

(単位: Niトン)



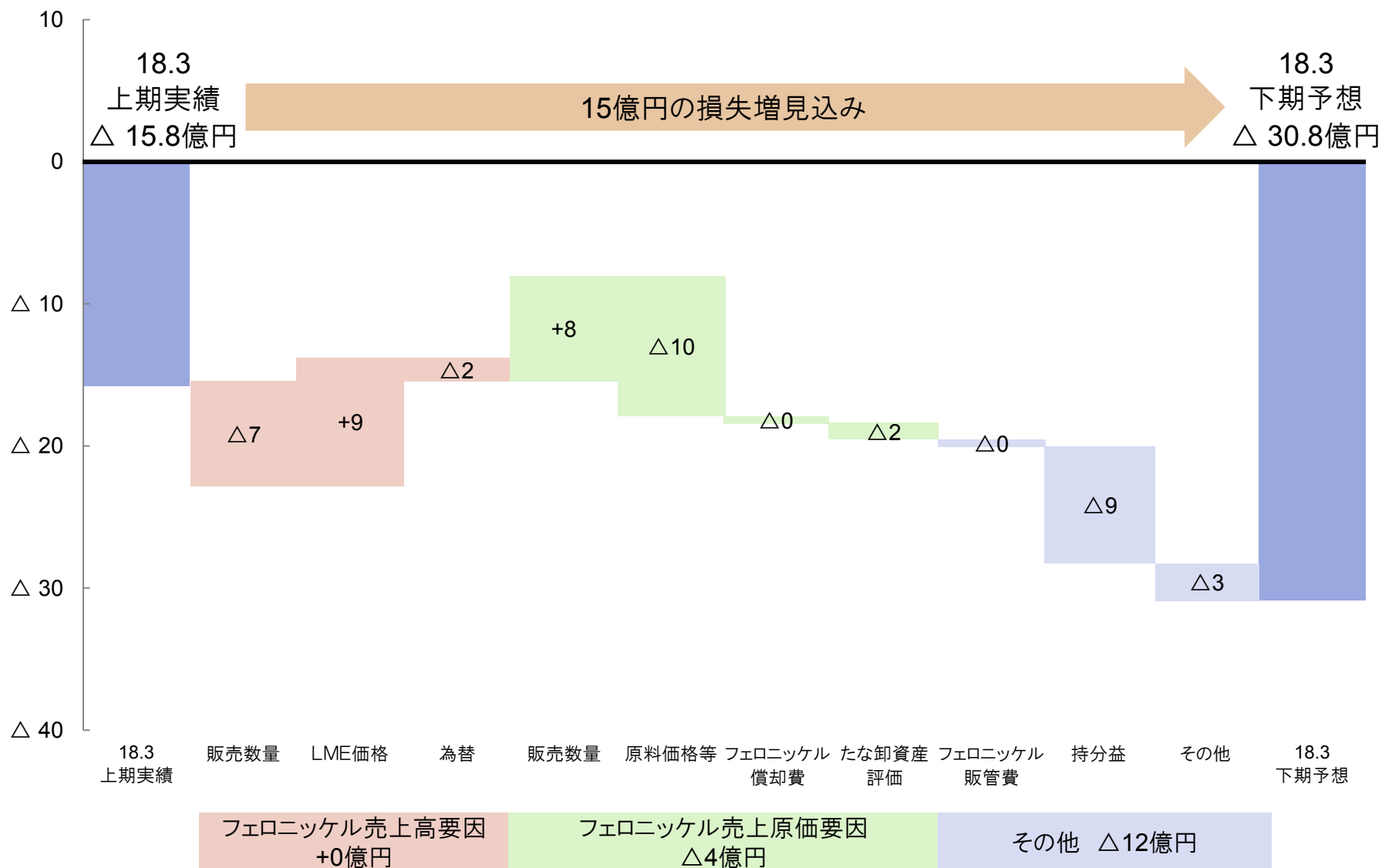
3. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



3. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



IV 経営課題への取り組み

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況①

これまでの 事業環境

- ・17.3期：計画数量の達成・高効率操業等により業績は改善
- ・18.3期：LMEニッケル価格は低調が継続、ニッケル鉱石価格は依然高値水準
業績は回復基調になく収益性低下、生産・販売数量の調整

PAMCO-30の主な重点施策・振り返り

フェロニッケルの生産・販売施策の強化

- ・鉱石品位低下傾向に応じた操業実施
- ・生産数量増減に対応した高効率操業を追求
- ・充実したCS活動と安定した品質の提供

- ・数量調整実施の中、高効率操業および充実したCS活動と安定品質の提供継続

ニッケル資源調達安定化

- ・資源各種規制・制限の中、資源国との情報交換継続
- ・ニッケル鉱石を取り巻く環境を見極め、安定調達を継続

- ・急変ある資源規制および緩和の中、生産に不足ない安定調達を継続
- ・鉱石調達トータルコストで検討し、コスト低減を追求

収益性の強化

- ・省エネ・低コスト生産の追求
- ・物流コストの削減、諸経費の圧縮
- ・修繕サイクル見直しによる維持コスト低減

- ・LMEニッケル価格等の外部環境が大きく業績に影響する中、収益力向上を目指しさらなる深掘り実施

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況②

18.3期の年初計画と18.3期通期見通しとの比較

【概要】

(単位:百万円、%)

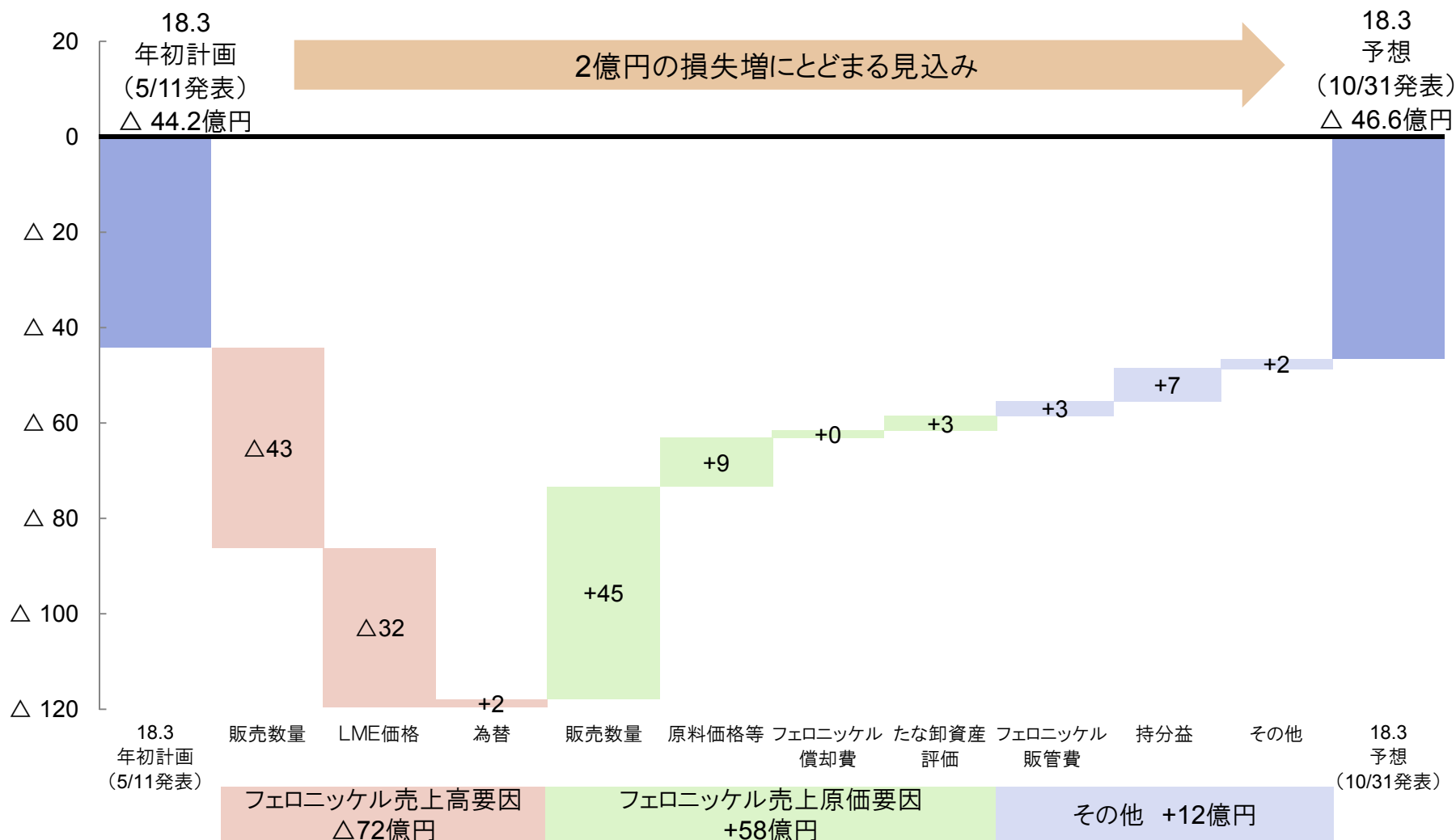
	18.3年初計画 (5/11発表)		18.3予想 (8/4発表)		18.3通期見通し (10/31発表)		対 5/11発表 計画比	対 8/4発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	45,695	—	36,611	—	38,401	—	△16.0	4.9
営業利益	△6,476	△14.2	△8,370	△22.9	△7,460	△19.4	—	—
経常利益	△4,422	△9.7	△6,248	△17.1	△4,661	△12.1	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△4,624	△10.1	△6,616	△18.1	△5,084	△13.2	—	—
(投資額)	722	—	—	—	555	—	△23.1	—
(減価償却費)	349	—	—	—	317	—	△9.2	—

【ニッケル事業】

	18.3年初計画 (5/11発表)			18.3 予想 (8/4発表)	18.3通期見通し (10/31発表)			対 5/11発表 計画比 (単位:%)	対 8/4発表 予想比 (単位:%)
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想		
生産数量(Niトン)	17,755	17,137	34,892	30,007	15,361	14,693	30,054	△13.9	0.2
販売数量(Niトン)	17,450	17,550	35,000	31,600	16,118	15,482	31,600	△9.7	0.0
適用LME(\$/トン)	10,869	11,023	10,957	9,634	9,766	10,362	10,053	△8.3	4.3
[適用LME(\$/lb)]	[4.93]	[5.00]	[4.97]	[4.37]	[4.43]	[4.70]	[4.56]		
適用為替(¥/\$)	110.11	109.65	109.88	110.30	111.17	110.02	110.61	0.7	0.3

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況③

18.3期の年初計画と18.3期通期見通しとの比較(連結経常損益)

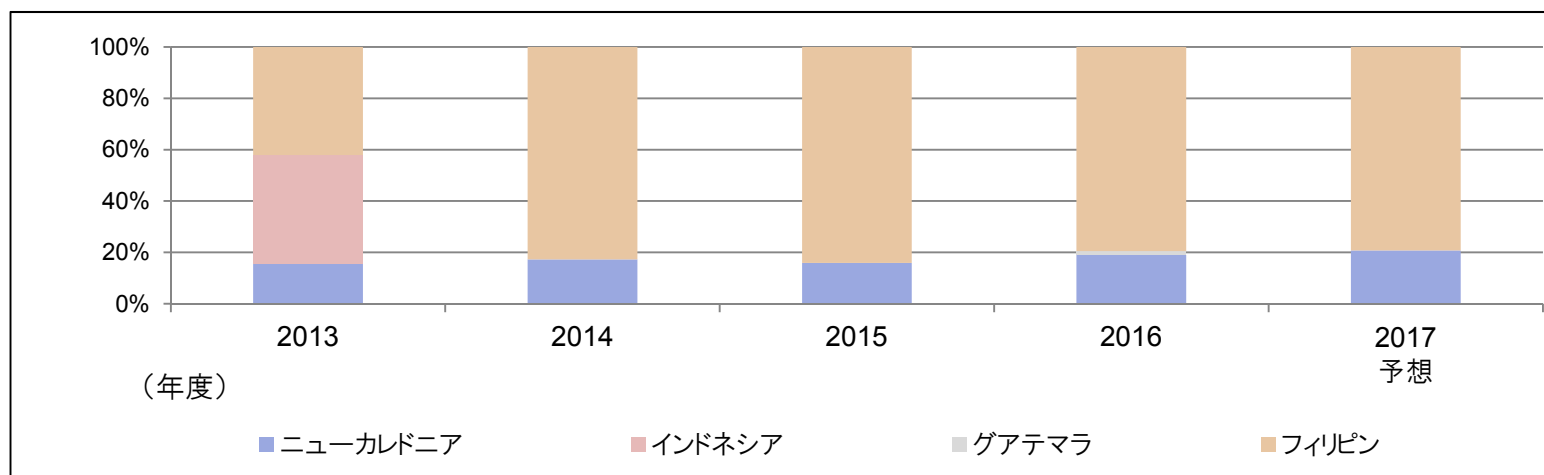


2. 鉱石長期購入契約・調達割合の動向

鉱石長期購入契約の状況

購入先	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3
＜フィリピン＞ リオ・チバ社(36%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ タガニート社(33.5%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ カグジャナオ社	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜ニューカレドニア＞ モンタニア社	2016年4月～2026年3月(10年間)				
＜ニューカレドニア＞ MKM社	2014年1月～2023年12月(10年間)				

鉱石調達割合の動向



3. ESGへの取り組み状況

環境

Environment

- **ニッケル鉱山での植林協力**
→ 採掘業者に対して、リハビリテーションの現地確認と各鉱山の植生についての情報交換を実施
- **省エネルギー対策**
→ 省エネ設備への改良や電気炉高温排ガスの再利用等、エネルギーの効率的な活用を実施
- **大気汚染防止対策**
→ ニッケル鉱石から発生する粉じんを抑制するため、24時間散水やダストモニター常時監視に加え、集じん機の増強を行い建屋からの粉じん飛散防止を実施



社会

Society

- **東日本大震災被災地への資材供給**
→ フェロニッケルスラグ製品を東日本大震災被災地での土木資材不足を補うための資材として供給
- **地域社会への貢献**
→ 地域社会との共生を目指し、地域の諸団体・諸イベントへの協賛等を実施
- **工場周辺や地域の清掃活動**
→ 当社工場周辺の道路沿いおよび原材料や製品の運搬経路の清掃活動を実施



ガバナンス

Governance

- **コーポレート・ガバナンスの充実・強化**
→ コーポレートガバナンス・コードへの対応強化および内部統制システムの構築により、ガバナンス体制のさらなる強化を目指す
- **統合マネジメントシステム(IMS)の活用**
→ 中期経営計画「PAMCO-30」における目標達成のツールとして、経営方針をIMS方針と位置づけ、システムを最大限に活用

引き続きESGへの取り組みも重要課題として認識

参考資料

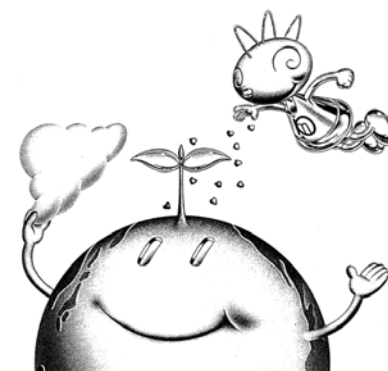
- 「環境・社会報告書」
<http://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>
- 「コーポレートガバナンスに関する基本方針」および「コーポレート・ガバナンス報告書」
<http://www.pacific-metals.co.jp/ir/governance.php>



計 画 値		PAMCO-30 17.3計画	PAMCO-30 18.3計画	PAMCO-30 19.3計画
	生産数量(Niトン)	32,885	34,893	37,270
	販売数量(Niトン)	33,000	35,000	37,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,722 [4.41]	12,037 [5.46]	14,132 [6.41]
	適用為替(¥/\$)	109.90	118.82	119.48
	売上高(百万円)	37,525	52,065	65,607
	営業利益(百万円)	△5,792	△1,800	2,541
	経常利益(百万円)	△4,181	552	5,964
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△4,382	192	5,286
	投資額(百万円)	920	1,997	2,712
減価償却額(百万円)	394	409	559	

実 績 値 (見 通 し 値)		17.3実績	18.3通期見通し (10/31発表)	19.3実績
	生産数量(Niトン)	33,101	30,054	
	販売数量(Niトン)	33,100	31,600	
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,877 [4.48]	10,053 [4.56]	
	適用為替(¥/\$)	108.64	110.61	
	売上高(百万円)	38,697	38,401	
	営業利益(百万円)	△3,070	△7,460	
	経常利益(百万円)	△516	△4,661	
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△3,562	△5,084	
	投資額(百万円)	255	555	
減価償却額(百万円)	376	317		

大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。